

かめおか

市議会だより



活発な市民参画を

目指して、

思いを形にする

亀岡市議会の情報発信。

亀岡市観光マスコットキャラクター

2020年(令和2年)10月31日

ついに
最終回

対談シリーズ
「これからの議会」
3ページ

木曾議員 × 田中議員 × 福井議員



わからんてや!
まるごとスタジアム構想って

市役所食堂をアトリエに?

霧の芸術祭?

市立病院に発熱外来棟建設

今年度生まれの赤ちゃんに10万円給付

土砂災害に独自の補助

の評価をした委員も!!

事務事業評価0点

異例の附帯決議
いったい何が起こったのか!!

決算審査で

『補正予算』

『決算審査』

令和二年

九月議会



決算で、特に注目して取り出した事業（事務事業評価）について、今年から細かな点数化を行っています。今回の結果を公表します。



その1 令和元年度一般会計決算認定について

個人評価	評価基準	合計点数
5	きわめて良好である	100点
4	良好である	76～99点
3	おおむね適正である	51～75点
2	課題がある	26～50点
1	かなり問題がある	1～25点
0	不適正である	0点

※これに基づき総合評価を決め、意見を付けました。

【評価の視点・4項目】

- 必要性** … 目的は？必要か？
 - 妥当性** … 市が行うべき事業？
 - 効率性・費用対効果** … 費用にムダなく効果は高い？
 - 成果** … 十分あらわれている？
- 各項目を5～0点で各議員が評価

事務事業評価の数値結果は？

事業名	点数/100	評価/5	総合評価
環境保全対策経費 (不法投棄、公害苦情処理等の経費)	87	4	拡 充
ごみ減量・資源化等推進事業経費 (食品包装・容器の処理・分別経費)	84	4	拡 充
介護予防・日常生活支援総合事業経費 (高齢者などの「集いの場」づくり)	79	4	見直しの上継続
商工業振興対策経費 (亀岡商工会議所を通じて商工業者を支援)	73	3	拡 充
観光推進経費 (亀岡市観光協会の運営や宣伝経費の補助)	73	3	拡 充
農業担い手づくり育成事業経費 (11の補助金事業や必要経費)	69	3	拡 充
セーフコミュニティ推進事業経費 (安全・安心の地域づくりの経費)	51	3	見直しの上継続
生涯学習推進経費 (ガレリアかめおか管理運営の委託経費)	45	2	※改修や管理の検討を
生涯学習推進経費・生涯学習賞	40	2	※事業の検証・見直し
文化振興経費 (かめおか霧の芸術祭に係る経費)	39	2	見直しの上縮小
移住・定住促進経費 (「離れ」にのうみ運営委託経費)	38	2	見直しの上縮小
生涯学習推進経費・俳句事業 (「光秀公のまち亀岡俳句大賞」)	27	2	※根本的見直しを

※の生涯学習推進経費は総合評価を「その他」とし、3項目それぞれに意見を付けました

評価が低かった事業の議員の意見です。



日本で初めてWHO協働センターの認証を取得し、取り組みを続けてきたが、市民の認知や参画の度合いを上げる必要がある。新たな認証取得は必要ない。
(→P8 附帯決議へ)

受賞者は市外ばかりで高額賞金も疑問。どれだけ市民のためになっているのかという視点から事業を見直すべき。
(→P8 附帯決議へ)

移住・定住促進が目的の宿泊施設をもつ自治体は近隣に例がなく、目的に合わない事業だと指摘してきたが、成果が上らない状況であり再検討を求めた。
(→P8 附帯決議へ)

市民の声

決算で意見を付けても、今年度の同じ事業は執行されているのでは？それではもったいないと思う。来年度の予算には反映されるが、今年度にも生かされるよう、市議会も努力してほしい。

俳句事業は平成30年度の途中で提案された。初年度は7,101句の応募があったが、2年目は4,042句に激減。うち、市内応募は一般が130句（1人2句まで応募可）しかなく、小・中学校頼みになっている。表彰式は京都御苑で行われたが、応募も選考委員も市民を対象にした事業にすべきではないという意見が議員から多く出された。
(→P8 附帯決議へ)

その2 令和2年度一般会計補正予算案について



今年度の新生児全員に10万円の給付金
民有地の土砂災害復旧に独自の補助金
市立病院に発熱外来棟を建設など

市独自施策盛り込む

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金8億4502万5000円などを活用して、総額16億9570万円の補正予算が計上されました。右に示したような

市独自の施策もあります。5000円のクーポン券事業やドラマ館への支援など、効果的な施策であったかなど議会は今後の動向に注視することが求められます。



補正予算の審査では、市民に説明が果たせないような提案では困るとして、委員会の日程を延長し、再質疑や追加資料の提出を求めるケースが目立ちました。ガレリアかめおか屋上のこどもあそびば整備、かめお

「あとづけ」提案に苦言

か霧の芸術祭「開かれたアトリエ」整備、亀岡まるごとスタジオ構想計画策定業務委託などの審査では、各議員から、「議員が理解できないものは市民も理解できない」と厳しい指摘がありました。

市民の声

8月に出産しました。前号を読んで、給付金のこと、私もその通り！と思っていましたが、市が判断してくれてうれしいです。コロナで家計も大変なので本当に助かります。

これらの経緯に当然、議会からは疑問の声が出された



「開かれたアトリエ」のイメージ資料。これも審査予備日の再質疑になってようやく提出された。

市民の声

正直言って、SDGsも霧の芸術祭もなんのことかわからない。どれだけ市民のためにするのか？地下の食堂はよく利用するけどどうなるの？

SDGs(持続可能な開発目標)モデル事業

かめおか霧の芸術祭とは？

<議会審査の経緯>

一昨年3月議会

市が「霧を象徴に市内一帯でアートを耕し人と地域の魅力を育てる芸術祭」として予算化。

昨年3月議会

「市民理解が得られるよう」指摘。

今年3月議会

予算審査での「コロナ禍の緊急事態になれば真っ先に切られる事業」との市長発言を受け「市民理解」に加え「経費を増やさないこと」との附帯決議を可決。

5月総務文教常任委員会

「事業を中止してコロナ対策に充てよ」と提言。

6月議会

市は「リーディング事業である」と答弁。

7月

国のSDGs未来都市モデル事業に選定。

9月議会

国からの交付金でモデル事業に係る経費として3000万円を補正予算に計上。賛否分かれる。

霧の芸術祭の「開かれたアトリエ」として市役所レストランを改装

注目！

総務文教常任委員会

○市役所レストランに開かれたアトリエ

一般会計補正予算
可決(賛成多数)

「開かれたアトリエ」を造るための増額補正。

【主な質疑】

なぜ市役所レストランに設置するのか。

・庁舎維持管理経費
1059万円増額

市民が一番入りやすい場所であるため。

・電算管理経費
341万円増額

また、現在は昼食時のみの利用となっており、有効活用するため。

・文化振興経費
2600万円増額

持続可能な開発目標(SDGs)の普及啓発を行うとともに、市役所地下のレストランを改修し、情報発信の拠点となる市民交流スペースとする。

活用方法は、打合せ、リモートワーク、食事、カフェなど、誰でも多目的に利用できる場所とする。

○民有地の土砂災害復旧に市独自支援

・災害救助経費
1400万円増額

補助率は、事業費の3分の2。補助限度額は、急傾斜地の応急復旧工事300万円(事業費100万円以上が対象)、土砂撤去等工事200万円(事業費20万円以上が対象)。

豪雨などによる土砂災害により被害を受けた、急傾斜地を有する土地、または下方の隣接地に対し、その応急復旧工事を費用を支援する制度を創設するための増額補正。土木工事業者が行う工事が対象となる。

補助率は、事業費の3分の2。補助限度額は、急傾斜地の応急復旧工事300万円(事業費100万円以上が対象)、土砂撤去等工事200万円(事業費20万円以上が対象)。

環境厚生常任委員会

○ポイ捨て防止重点地域にごみ箱を設置

一般会計補正予算
可決(全員賛成)

防止重点地域にごみ箱を設置するための増額補正。

【主な質疑】

どのようなごみ箱を設置する予定か。

・ごみ減量・資源化等推進事業経費増
615万9000円

8月1日から亀岡市ポイ捨て等禁止条例が施行されたことに伴い、環境美化意識の向上を目的として、ポイ捨てを予定している。

設置時期は、11月をめどに設置

設置時期は、11月をめどに設置

○市立病院に発熱外来棟を建設

病院事業会計補正予算
可決(全員賛成)

・建設費増
4429万2000円

簡易な診察室として、約32平方メートル平屋の発熱外来棟の建設およびCT検査室への新しい動線確保するための渡り廊下の設置と建物の壁面を改修するための増額補正。

着工から完成までの工程と見通しは、11月上旬に着工し、CT検査を行う際、新型コロナウイルスの完成を予定している。



上記のイメージ図については、完成後の状況と異なる場合があります。

ルスなどに感染の疑いのある方と同じ入り口から入ると感染の可能性があるため、壁面に扉を設置し発熱外来棟からCT検査室へ最短で行けるよう改修する。壁面の工事は年内に完成させ、建物は2月末の完成を予定している。

ルスなどに感染の疑いのある方と同じ入り口から入ると感染の可能性があるため、壁面に扉を設置し発熱外来棟からCT検査室へ最短で行けるよう改修する。壁面の工事は年内に完成させ、建物は2月末の完成を予定している。

産業建設常任委員会

○第3弾、飲食店や商店街を応援するためのクーポン券を配布

一般会計補正予算
可決(全員賛成)

【主な質疑】関係団体と事前に協議したのか。

・商工業振興対策経費
1億2490万1000円増額(財源は全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

新型コロナウイルスの影響が続き、経営が厳しい市内の飲食店や商店街加盟店などへの支援策第3弾として、年末商戦を見据え、1家族5000円分(500円×10枚)のクーポン券を自治会を通じて配布する。自治会未加入者は、自治会の窓口や市役所3階商工観光課の窓口で受け取ることができ。利用期間は、11月2日〜12月31日まで。事業者の換金請求は、令和3年1月29日までとなっている。

新型コロナウイルスの影響が続き、経営が厳しい市内の飲食店や商店街加盟店などへの支援策第3弾として、年末商戦を見据え、1家族5000円分(500円×10枚)のクーポン券を自治会を通じて配布する。自治会未加入者は、自治会の窓口や市役所3階商工観光課の窓口で受け取ることができ。利用期間は、11月2日〜12月31日まで。事業者の換金請求は、令和3年1月29日までとなっている。

クーポン券が使えるお店は、前回より増えているのか。

少し増えると思うが、今後も使用開始間際まで募集していく。

自治会未加入者への周知方法は、SNSなどあらゆる手段を使って情報発信していく。

商品券に比べて、クーポン券は経済効果が低いのではないか。

限られた予算の中で、経費を抑えて、感染症対策を取りながら、最大の効果が上げられるように、迅速に取り組んでいく。

本会議での討論

共産党議員団

三上 泉 議員

第1号議案 反対討論

「亀岡まるごとスタジアム構想」の策定は、コロナで困っている市民を応援するものではなく、内容も不明瞭だ。コロナ対策予算で行う事業ではなく必要である。また、「霧の芸術祭の開かれたアトリエ」については、中核事業でない外部の取り組みのために市庁舎を使う必要はない。切実な市民のニーズに答える市庁舎の活用を考えるべきである。

第6号議案 反対討論

市民福祉の増進に寄与するものであったが疑わしい経費や、目的や支出が不明瞭な経費がある。これらは、これまで議会が再三指摘してきたものばかりである。改善がなされていない経費については認めることができない。

緑風会

赤坂 マリア 議員

第1号議案 賛成討論

来年度は、国からのコロナ関連補助金などが縮小されると予想されるが、少ない財源の中で市民福祉の増進のため、予算をしっかりと市政に反映させるよう工夫していただきたい。また、議員と執行部が連携し、市民のための取り組みを進めたい。

第6号議案 賛成討論

今まで再三にわたり附帯決議や指摘要望を行ってきたが、多くの事業において一向に変わらない、直らない。委員長報告にもあったが、決算時にこれほど厳しい意見をつけたことはほとんどない。これを真摯に受け止め、今後は市議会と執行部がコミュニケーションを図り、謙虚に取り組んでいただきたい。

新清流会

小川 克己 議員

第6号議案 賛成討論

今後のまちづくりを見据え、限られた財源で、最大の効果が得られるよう努力されたことと認められる。今後、地球温暖化による異常気象、少子高齢化や人口減少、またコロナ禍における感染予防や経済対策など、市民の暮らしを支援するための課題は、ますます山積される。執行部においては、決算認定における指摘要望事項や業務事業評価の意見に最大の考慮と配慮をいただき、今後もコロナ禍における施策の実施と亀岡市の将来にわたる課題解決のため「選ばれたまち」「住み続けたいまち」亀岡の実現に向けた、シテイブローモーションに積極的に取り組んでいただきたい。

新清流会

西口 純生 議員

第9号議案 賛成討論

理事者の説明を受け、この事業を継続する意思があると確認した。これから団塊の世代が高齢化し、超高齢化時代のピークを迎えようとしている。介護の環境が厳しい時代を迎えようとしているときに、高齢者が健康で、自宅で自分の身の回りのことができるようにすることは大変重要なことである。そのためには何か必要かを学ぶ居場所づくり、拠点の必要性を考えると、この事業の必要性は高い。高齢者福祉の充実を図ることで、生きる喜び、介護保険料における市民負担の軽減といった観点から、委員会では「見直しの上継続」としたが、「拡充に近い継続」として取り組みの充実を要望する。

討論があった議案

- ・第1号議案R2一般会計補正予算(第5号)
- ・第6号議案R1一般会計決算
- ・第9号議案R1一介護保険事業特別会計決算



討論とは…賛成か反対かの意見を表明し、他の議員を自己の意見に賛同させようとする発言だよ。

傍聴のご案内と
インターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧
いただくこと(傍聴)ができます。

○本会議当日に市役所8階議場までお
越しいただき、傍聴届に住所・氏名
を記入していただくだけで傍聴でき
ます。

○手話通訳などをご希望される場合は、
会議の1週間前までに議会事務局に
ご相談ください。

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のた
め当面の間、本会議・各委員会の傍聴を
自粛いただきますようお願いします。

亀岡市議会 議会中継

検 索

※インターネットでも本会議のライブ
中継・録画をご覧いただけます。



9月議会では、21人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の
要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)
なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

(※)一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や方
針などを質問することをいいます。議長、副議長、議会選出の監査委員は、一般質
問を行いません。

田中 日本共産党は、
去る7月28日に、政
府に対して、新型コ
ロナウイルス感染症
の急拡大を抑止する
ために、緊急の申し
入れを行った。その
内容は、新型コロナ
ウイルスの感染急拡
大は極めて憂慮すべ
き事態となっている。
感染の急激な拡大が
医療の逼迫、さらに
医療崩壊を引き起こ
し、救える命が失わ
れることが、強く懸
念される。感染震源
地を明確にし、その
地域の住民、事業所
の在勤者全体に対し
て、検査目的が診断
的ではなく防疫目的
であることを明確



田 中 豊 議員

新型コロナウイルス感染症の拡大を
防止し、安全・安心の社会基盤を

にし、PCRなどの
検査を大規模に拡充
し、実施すること。
そして感染拡大を抑
止し、安全・安心の
社会基盤をつくるこ
とである。本市の関
連する取り組みはど
うか。

市長 感染震源地を
明確にし、感染拡大
防止策を講じること
は大変重要なことと
考えている。本市に
おいては、現在のと
ころ、感染源となっ
ていないが、万が一、
市内で感染源が発生
した場合、PCR検
査が速やかに実施さ
れるよう、京都府と
連携して対応してい
きたい。

全員賛成で可決した議案

付託先	件 名	結 果	付託先	件 名	結 果
決 算 特 別	R1国民健康保険事業特別会計決算	認 定	総務文教常任	亀岡市立小・中・義務教育学校情報通信ネットワーク環境 施設整備委託契約の締結について	可 決
	R1休日診療事業特別会計決算	〃		財産の取得について	〃
	R1介護保険事業特別会計決算	〃	環境厚生常任	R2休日診療事業特別会計補正予算(第1号)	〃
	R1後期高齢者医療事業特別会計決算	〃		R2介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
	R1土地取得事業特別会計決算	〃		R2病院事業会計補正予算(第2号)	〃
	R1曽我部山林事業特別会計決算	〃	産業建設常任	R2水道事業会計補正予算(第1号)	〃
	R1水道事業会計決算	〃		住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の 住居表示の方法について(大井町)	〃
	R1下水道事業会計決算	〃		市道路線の認定及び変更について	〃
	R1病院事業会計決算	〃	付託省略	令和元年度亀岡市一般会計決算認定に対する附帯 決議(案)	〃
	R1亀岡財産区ほか29財産区特別会計決算	〃			
	R1水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可 決			
	R1下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	〃			



賛否の分かれた議案

○賛成
×反対、態度保留など

会派名	新 清 流 会	緑 風 会	共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 会 派
議員名	浅田晴彦 大塚建彦 平本英久 小川克己 奥野正三 福井英昭 西口純生 菱田光紀 石野善司 木村 勲 赤坂マリア 三宅一宏 松山雅行 木曾利廣 竹田幸生	長澤 満 三上 泉 田中 豊 並河愛子 富谷加都子 山本由美子 藤本 弘 小松康之	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
付託先	件名・結果	可決	〇	〇	〇
総務文教 環境厚生 産業建設	R2一般会計補正予算(第5号)	可決	〇	〇	〇
決 算	R1一般会計決算	認定	〇	〇	〇

※齊藤一義議員は、議長職のため表決権はありません。

健康福祉部長 ①介
護人材が不足し、特
別養護老人ホームや、
ショートステイが一

介護人材確保、定着に向け資格取得
補助を

富谷 ①介護現場に
おける人材不足の現
状は。②人材確保、
定着支援として資格
取得補助制度導入の
考えは。

市長 ①おむつ施策

富谷 ①保育所・園

富谷 ①保育所・園



富 谷 加 都 子 議員

感染症と向き合う生活の中で、使用
済みおむつの園処理の検討を

のニーズ調査をする
ことは有効と考える。
②保育に関して様々
なニーズがあり、高
額な経費を考えると、
ほかに多くの取り組
むべき課題があるこ
とから、現時点で実
施は考えていない。

富谷 処理経費は課
題であるが、衛生面、
保育コストを重視し、
より良い方策の検討
を願う。

部休止されている。
②受験や研修費用の
助成、そして事業所
の定着支援など、実
施に向けて前向きに
検討していきたい。

富谷 即効性のある
人材確保、定着支援
を願う。

決 議

令和元年度亀岡市一般会計
決算認定に対する附帯決議(案)(抄)

発議者 決算特別委員長 奥野 正三

(前文省略)
1 セーフコミュニティ推進事業経費につい
ては、認証取得は行わず、市民参加型の安全
安心なまちづくり事業を推進すること。
2 移住促進施設事業経費については、事業
目的が達成できていないため、目的を観光
振興にするなど再検討すること。
3 かめおか霧の芸術祭事業については、規
模を縮小し、これ以上関連事業や財政支出
をしないようにすること。
4 文化センター運営費 地域交流促進経費
については、適正な事業計画を立てて事業
展開を行うこと。
5 生涯学習推進経費の生涯学習賞及び俳句
事業については、市民に特化した事業とす
ること。

人事関係

人権擁護委員候補者の推薦に異議がないと
意見を述べました。

江口 昌道氏
川田 和歌子氏
中道 高志氏
大井 龍樹氏

平の沢池の展望デッキの現状と今後の修繕計画は



浅田 晴彦 議員

浅田 京都府の景観資産登録を受けている平の沢池の中池に設置されている、木製の展望台の老朽化が進み、立ち入り禁止のバリケードが置かれ、景色を見ることのできない状態になっている。池にいられている方々から、もっと近くで植物を見たい、写真を撮りたいという意見がある。池沿いの道路は通学路でもあることから、安全で安心して通れる道路整備も含めた、今後の修繕計画は。

新型コロナウイルス感染症における経済対策の検証と今後の対策は



木曾 利廣 議員

木曾 経済対策第1弾、市内飲食店のテイクアウトなどで利用できる割引クーポン券発行事業や、市内観光の支援事業に多額の予算を計上したが、効果と検証は。

産業観光部長 第1弾として実施したクーポン券配布事業、出前でうちメシ応援キャンペーン（予算3500万円）は、チェーンストアを除く市内飲食店97登録店で、1万10006枚が利用され、利用率は31%（1178万3000円）、利用者の負担分を合わせて2200万円を超えている経済効果があったと考えている。保津川下りの半額乗車キャンペーン（予算500万円）も1カ月で1503人、京都のお宿でキャンペーン（予算875万円）も8月末で877人の利用があった。

木曾 経済対策第2弾、そとメシ・お買い物応援キャンペーンは、第1弾の検証（問題点）を踏まえ3683万円の予算を投じたものの効果は限定的だと思つた。

産業観光部長 第2弾は、258店舗が参加し、9月6日までに3250枚が利用され（9月末まで利用可能）、換金額は325万円であり、利用者の負担分も合わせ消費効果が期待できると考えている。

SDGsは霧の芸術祭だけに力を注ぐものではない



三上 泉 議員

三上 SDGs（持続可能な開発目標）未来都市に選定されたことはうれしいことだが、認知度が低いのは、次期総合計画との整合性は。

市長 本市の施策とSDGsは一致する。全職員で推進するが、

コロナ後の学校には少人数数学級を

三上 よりよい教育のためにも、コロナ対策としても、少人数数学級を首長会長などが求めている。今こそ声をあげるべき。

教育部長 確かな学力や、個性伸長教育の充実などのためにも、府への人員配置の要望を行つている。3密の解消にも有効である。教職員や教室の確保など、引き続き府や国へ要望を行いたい。

三上 霧の芸術祭がSDGsを意識するのはよいが、自治体SDGsが霧の芸術祭だけを意識してはいけない。

市長 その通り。

三上 かめおか霧の芸術祭は外郭協力団体の取り組みの一つであるということか。

豪雨により発生した民有地での土砂災害に対する、本市の考えは



山本 由美子 議員

山本 今年の7月豪雨により、本市においても住宅に隣接する擁壁崩落や土砂崩れなどによる被害が発生した。いずれも個人や地縁団体が補助制度を創設する。

市長 これまで救済が困難であった急傾斜地の崩落による民有地被害を対象に、応急復旧を支援する補助制度を創設する。

JR千代川駅に東西を結ぶ自由通路を



小川 克己 議員

小川 JR千代川駅で跨線橋を利用できない方の東西ホーム間の移動手段は。

まちづくり推進部事業担当部長 跨線橋にスペースを確保できないことから、エレベーターを設置することは困難であるため、バリアフリーの観点から円滑に東西ホーム間を移動できるよう、現在自由通路の整備を計画している。

豊かな学びと文化を育む拠点整備を

小川 豊かな学びと文化を育み、誇れるまちとして、新資料館構想を視野に入れた市の拠点整備の取り組みは。

市長 選ばれるまち、住み続けたいまちづくりのためには、文化活動を推進し、歴史資料を確実に未来に伝え、市民の理解や関心を高めていく

生涯学習部長 京都スタジアム南側の大河ドラマ館の駐車場になつていく場所に、フットサル場とスケートボード場の建設を計画している。フットサル場1面とスケートボード場を合



イメージ図

養育費の立替制度を設けるべき



松山 雅行 議員

松山 本市でも養育費不払いの実態がある。不払いによる生活難をサポートできるように、民間保証会社と連携した立替制度を設けてはどうか。

市長 民間保証会社と連携した立替制度は、養育費不払い問題の解決を図る上で、有効な手段の一つである。本制度については、養育費の取決めがなされている事が前提となるため、取決めに關する対策と併せて、本制度の創設を検討する。

若者文化によるまちのにぎわい

松山 五輪正式種目のスケートボードパークなどの計画は。

わせ、全体で2883平方メートルとなる計画である。

山本 令和2年6月議会において、コロナ禍で不安を抱えながら出産を迎え、経済的にも大変な中、これからの子育てを応援するため、国の特別定額給付金の基準日の翌日、4月28日以降に生まれた新生児を対象に本市独自の給付を求めている。

こども未来部長 地方創生臨時交付金の活用を検討する中で、4月28日から翌令和3年3月31日までに生まれた新生児を対象に、一律10万円を本市独自の支援策として実施する。

かめおかプラスチックごみゼロ宣言
について今後の取り組み状況は



並河 愛子 議員

並河 近隣市町への呼びかけや、市民への啓発と説明、国や企業への働きかけは。

市長 エコバック持参率100%を目指す。

す。市民に啓発冊子を全戸配布し専用フリーダイヤルを設置した。また、近隣市町に連携を呼びかけネットワーク強化に取り組んでいきたい。全国清涼飲料連合会が2030年までにペット容器をすべて回収、リサイクルすると発表している。こうした動きと連携していきたい。

新型コロナウイルス感染症で減収と
なっている介護事業者の支援を

並河 厚生労働省は、減収対策として介護保険のデイスタービスやショートステイ事業者を利用者の事前同意があれば、サービスを受けていなくても2区分上位の報酬を月4回まで請求できるようにした。本市の状況はどうか。利用者負担ではない。

健康福祉部長 適切な取り扱いであると認識している。市内30事業所のうち、14事業所が特例措置を実施している。事業所に対する市独自の補助は考えていない。

亀岡のおいしい水を生かした給水器の設置を



藤本 弘 議員

藤本 市庁舎1階とガレリアかめおか1階の給水器が故障している。修繕や機種更新の予定は。また、新たに給水器を設置する予定は。

総務部長 庁舎1階

JR4 駅に喫煙所の設置を

藤本 JR 亀岡駅南口、馬堀駅、並河駅、千代川駅に喫煙所を設置する予定は。

環境市民部長 亀岡駅南口の喫煙ブースについては、市営駐車場西側通路に今年度中に設置予定である。馬堀駅について

の給水器は、修繕または、機種更新を検討している。

生涯学習部長 ガレリアかめおかのかの給水器も使用禁止としており、更新も検討している。

環境市民部長 新たに市内公共施設などに給水器の設置を予定している。また、給水スポット整備も進めたい。

は、設置時期、設置場所について、今後検討していく。並河駅と千代川駅については、設置された経過はなく、今後検討を進めていきたい。

本年度の桂川本川・支川の堆積土砂撤去の計画は



西口 純生 議員

西口 堆積土砂のため蛇行した桂川本川と、支川の堆積土砂撤去計画は。

市長 京都府が3カ年計画で、堆積土砂の撤去などを順次実施される。本年度は、桂川本川の河原林町から月読橋までの間の支障木伐採および



堆積土砂のため蛇行した桂川本川

今年度の国・府への要望活動の見通しは

西口 国・府への要望の見通しは。

市長 府や近畿地方整備局に対しては要望を実施できると考えるが、国から新型

コロナウイルス感染症拡大防止のため、国や地元国会議員への要望活動は控えるよう通達があり、書面による要望も含めて調整していきたい。

近年、大量発生しているジャンボタニシの被害状況と本市の対応は



木村 勲 議員

木村 今年7月に農林水産省が稲作病害虫防除対策全国協議会を設置した。発生状況と被害額、農林水産省からの指示と。本市としての対策は。

国道9号ダブルルートの計画および進捗状況は

木村 第4次亀岡市総合計画の中に都市基盤の整備とあるが、7月豪雨で京都縦貫自動車道沓掛IC付近で車が土砂に押し流された事故を受け、整備の早期実現の考えは。

市長 本市と南丹市、京丹波町で構成する

産業観光部長 昨年の被害状況は約290ヘクタールで、稲作共済から1キログラム当たり194円、合計で11万774円が支払われている。8月21日に農林水産省が現地調査を行い、今後指示があれば内容を公表し、環境問題も考慮して適正な方法を検討していきたい。

国道9号ダブルルート整備促進協議会から国へ要望活動を行っており、西京ルートと右京ルートの2案とも大半がトンネルで多額の費用がかかること認識しているが、最適なルート案の決定に向けて取り組みたい。

プラスチック製レジ袋提供禁止条例の施行は、延期を含め慎重に判断を



長澤 満 議員

長澤 ①エコバッグの普及促進について、スーパードなどの協定の成果、国のレジ袋有料化の影響を含め、現状と課題は。②コロナ禍などの状況を勘案し、来年1月施行の延期を含め、

新型コロナウイルス感染防止対策の推進のため、保健所との連携強化を

長澤 ①本市域内に保健所の感染対策部門の分室的機能の設置を求めているかどうか。②厚生労働省は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、市民の相談は病院などで受け、保健所は調

慎重に最終判断すべきではないか。

市長 ①本市のエコバッグ普及促進施策は、国のレジ袋有料化も追い風に大きな成果を示している。②1月施行に合わせ、亀岡市外の人々を含め市内で購買していた、新たな仕組みを考える。12月時点で施行を延期するか分かれると考える。

健康福祉部長 ①分室的機能の設置を求める考えはない。②インフルエンザの流行期に備え、亀岡市医師会と連携を強化していきたい。

新型コロナ禍の児童虐待や貧困家庭の孤立化を防止せよ



平本 英久 議員

平本 新型コロナの影響で休校措置などが行われてきた。本市は子どもの貧困対策や児童虐待防止に積極的に取り組んできたが、虐待の実情はどうか。

有害鳥獣からの農作物被害と人的被害をどう守るのか

平本 これまで農業従事者を苦しめてきた有害鳥獣による農作物被害や、篠町で目撃されている熊による人的被害に危機感をもって迅速に対応すべきではないか。

産業観光部長 京都府南丹広域振興局と連携し、イノシシなどの捕獲などを効果的に設置していきたい。目撃されているクマの対応についても地元関係者と協議し、議員が提案された注意喚起の看板を設置するなど早期に対応していきたい。

子ども未来部長 児童虐待は、令和2年7月現在で459件である。新型コロナの影響で虐待が増加しているとは言えないが、関係機関と連携し児童虐待や孤立化の未然防止に努めたい。

平本 悩みを抱える子育て世帯が孤立化しないよう要望する。

区画整理事業地内の住所表示に積極的な関わりを



竹田 幸生 議員

竹田 区画整理事業地内の住所表示はどのような流れで決まるのか。

市長 区画整理登記を行うことで底地の整理ができる。町名、町界変更は法に基づ

き市議会の議決を得て定める。

竹田 亀岡市が組合、自治会などと積極的に関わり、議会に諮る町名、町界の名称を調整することはできないか。

市長 最終決定は市議会での議決になるが、事前に地元調整を図ることで工夫ができると思う。

ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の生育、分布状況の把握を

竹田 ジャンボタニシの被害が拡大しているが、環境行政としてどのような調査を行ってきたのか。

環境市民部長 ジャンボタニシに特化した調査は行っていない。

竹田 農業被害の状況からも外来種のジャンボタニシの生育、分布状況把握を環境政策として行い、農業政策と連携することを要望する。

令和2年度の予算執行状況は



石野 善司 議員

石野 予算執行の取り組みと現在の進捗状況は。

市長 本年度は、ターゲットイヤーとして、本市がさらに飛

特別定額給付金の受給状況は

石野 特別定額給付金の申請期限が終了したが、申請状況と申請率は。また、全ての希望者が申請され給付されたのか。

企画管理部長 給付対象世帯3万9292世帯のうち、オンライン、郵送、窓口持参などで申請された分と申請辞退を申

躍する重要な年度と位置づけ、各種事業予算を積極的に編成した。未曾有の国難である新型コロナウイルスの感染拡大が社会情勢に様々な影響を及ぼす中、感染症の対応に全力を傾注し、計画的に主要な事務事業に務め、おおむね順調に執行できている。

し出られた分を合わせると、3万9207世帯となり、申請率は99.8%、となった。また、受給対象者に対する申請率は99.9%となった。申請を希望される方には給付金を受給いただけたものと考えている。

亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行期日は



三宅 一宏 議員

の考えは。

三宅 条例の制定に対する附帯決議の中では、社会的な諸状況を勘案し、施行期日の延期も検討しているが、現在

ポイ捨て防止重点地域にごみ箱の設置を

三宅 ポイ捨て防止重点地域にごみ箱を設置してはどうか。

環境市民部長 亀岡市ポイ捨て等禁止条例の施行に伴い、ごみ箱の設置を検討しており、9月議会に予算を提案している。



大きな土砂災害で被災した民有地に対する補助制度は



赤坂 マリア 議員

赤坂 7月豪雨で西別院町万願寺大堂の民家を襲った大きな土砂災害の応急復旧に対する補助制度は。

市長 急傾斜地崩落による、民有地被害を対象にその応急復旧に要する経費の一

タクシー事業者を公共交通に取り入れてはどうか



7月豪雨によって被災した民家

赤坂 交通のブロであるタクシー事業者を本市の公共交通の一部に取り入れてはどうか。

まちづくり推進部長 地域主体型交通に

部を支援する新たな制度を創設する。豪雨による土砂災害の支援を対象とし、個人を救済するための取り組みとして、災害の状況に応じて柔軟に対応していきたい。

イア運転手の確保が課題であり、持続可能なものにしていくためには、運転手の手配や運行管理などをタクシー事業者に依頼するようなことも、今後考えていく。

障がいがある方とない方が共働できる場の提供を



大塚 建彦 議員

大塚 障がい者就労支援という観点から、障がいのある方とない方が共働できる場の提供を推進してはどうか。

健康福祉部長 6月

古い町並みを保存継承するための助成制度の創設を

大塚 古い町並みを保存継承するため、亀岡市独自の助成制度を創設する考えは。

まちづくり推進部長 本年3月に策定した、亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想において、

議会で提案いただいた、サンガスタジアムでの就労体験については、障がいのある方が、清掃活動やチラシ配布などのボランティアスタッフとしての活動機会が創出できるよう、現在協議を進めている。今後、障がい者団体などと具体的な協議をする中で、実現に向けて取り組んでいきたい。

や、歴史的な町並みを後世に継承する仕組みづくりを、検討していくこととしている。そうした助成制度も、既存の制度も含めて、地区住民の皆さんと協議しながら考えていきたい。

市長 豊かで住みよい生活環境を維持するため、地域で互いに助け合い、支え合う環境を築いていくことがあるべき姿だと考える。そのため、9月議会に自治会活動における新型コロナウイルス感染拡大防止策に対する支援金創設を提案して

市長 亀岡駅から市役所へ向かう道を一方通行にして、なるべく歩行空間を広く取り、周りの店がテラス的に活用し休憩場所を設置したり、歩きながらまちを楽しむ空間ができればと思う。公共空間も質の時代に入ってきている。豊かさを実感できるようにまちづくりを進めたい。

児童の登下校時の持ち物軽減のため、置き勉はできないのか



小松 康之 議員

小松 児童の登下校時に、熱中症予防や事故、犯罪防止のため学校に教材を置く「置き勉」について課題を含めた見解は。

教育部長 従来から携行品の重さや量について、配慮をお願いしてきた。今回の猛暑でさらなる積極的な取り組みを指示した。置き勉は、家庭学習への影響もあり、解決のため学校と連携を図っていく。

本市の移住・定住サイトがあまりにも貧弱、発信に最大限努力するべきだ

小松 本市のホームページの移住・定住サイトでは、賃貸や中古物件の情報が大きく表示されている。不動産を買う、借りる前に、まず、本市に住みたくなる情報を発信するべきでは。

小松 更新予定は。

市長公室長 来年11月の予定である。

市長公室長 現システム上の制約もあるが、魅力の発信、有

掲載内容は、質問した議員がそれぞれ執筆したものです。

9月議会を終えてひとこと



事業の見直し、それぞれ

9月議会では、主に令和元年度の決算審査を行いました。歳入は、市民の皆さんの暮らしを支える貴重な財源として、予算の確保に一層の努力をされました。歳出は、おおむね市民の皆さんの税金が適正に使われていましたが、一部の事業で課題があるとして5点の附帯決議を提出し、それぞれを強く求めました。

また、令和2年度の補正予算についても、議案提出における準備・資料不足が見受けられ、様々な課題がある議会であったと考えています。今後も市民の皆さんに説明責任が果たせるよう議会活動を進めていきたいと考えていますので、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

亀岡市議会副議長

奥野 正三

インターネット中継を視聴して

市民の声



湯 浅 久美子 さん
大井町在住

いつもの傍聴より多くの議員さんの質問や答弁が聴けて良かったです。

今議会で私の一番の関心は、新型コロナウイルス感染症対策です。感染者数は分かるのですが、PCR検査はいつまで市内でどれくらいなされているのか、その数で十分なのか、とても

気になっています。

コロナ対策で国から限度額を約11億5000万円として地方創生臨時交付金が配分されると分かり、単純に人口で割り算してみると、一人1万3000円ほどでした。少ないなあと思いました。それでも貴重な税金です。私たち市民の命や暮らしを守るための必要な対策に有効活用できるように、議会できっちりチェックしていただきたいし、市は国に増額を求めてほしいと思いました。議員さんも市長さんをはじめ市の担当者さんがんばってください。

編集後記

前号は表紙がクイズに。そして今号はいつもと雰囲気が違う週刊誌風表紙に。少しでも興味関心をもってページを開いて読んでいただけるようにと、編集に携わる広報部会委員が、それぞれのアイデアを出して、みんなで意見を出し合って、毎回違うテイストになっています。カタチにするのが難しくて、しよつちゅう頭を抱えてしまいます。議会だよりの「顔」である表紙が定まらないのはよくないことかもしれませんが、少しでも良いものにしよう、様々な「試し」に挑んでいます。

本日は、市民の皆様に表紙など紙面を開放したいのです。引き続き、表紙を飾る写真、絵画、イラスト、タイトルロゴなどを大募集しております。ご協力よろしく願っています。

広報広聴会副委員長 三上 泉

広報広聴会 議員

委員長					副委員長				
小川	三上	赤坂	富谷	浅田	大塚	木村	三宅	松山	雅行
克己	泉	マリア	加都子	彦彦	建彦	一宏	雅行		